Poolside
プールサイド：chapter 4
R-18
Adult
only

あなた達の動画大好評よ？
直接抱きたいって顧客も多いし
そのうちご奉仕に行かせてあげる
百合カップルの性奴隷
きっと顧客も喜ぶわ
ぐぽ
ぐちゃ
ぐぽ
ぐちゃ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ

アナルも久々にいっとくか？
いやああヤダァああっ
もう許して下さいっ
お尻はヤダぁっ
澪っ…
おっ？
ゲイッ
どうぞ
真琴…？
くぱぁ…
ご主人様私のおまんことお尻の穴ではだめでしょうか？
トロォ
ご主人様たちのザーメンいっぱい流し込んで欲しいんです

へぇ
澪に庇ってもらってばかりだったのに
変わったものね
じゃあ快く使わせてもらいなさいな
了解っ!!
うっ
じゃあ二つともいっとけやっ
真琴っ

ぴゅる
あぁぁ
ガクッ
ガク
ガク
ぴゅ。
これはメンタル面でも奴隷達を再調教する必要ありね
それに澪が弱音なんて…
真琴が澪をねぇ

頑張ってる奴隷ちゃんたちにご褒美をあげる
殿方のちんぽの相手ばかりじゃ辛いでしょう？
このvipルームで息抜きをするといいわ
今から澪の調教は真琴にしてもらうわ
え？

ご主人様の言いつけが守れない場合は

きゅ

ぎゅう

ぎゅう

その仕込んだ特製バイブでたっぷりお仕置きしてあげる♪

ひっ

ガク

ガクー

と言っても いきなり 調教しろなんて 無理よねえ

じゃあ その前に不安を 取り除いて あげる

二人で 舐めきりなさい

スッ

はーっ
はーっ
どう？
一つの飴を
二人で舐めう
なんて
それだけでエッチな
気分になるでしょ？
フフっ
まあそれだけじゃ
ないけどね
くちゅ
ちゅぱ
ちゅ
ちゅぱ
くちゅ
ふーっ
ふーっ
ちゅぱ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
びくっ
んんッ

ぎゅう
フフフ
すごいでしょう？
私の会社で作らせた
特製媚薬を
調合した飴なの
ぎゅ♡
性欲感度
全てが敏感に
なるわ
ぴくっ
あっ
やっ
ぴくっ
咲喜様っ
あっ

じゃあテストぉ〜
ポチ
いい感じに感度が高まったんじゃない？
はー
あっ
はー
はー
えっ!?
あっ
はひっ
ああああっ

ああああっ
あはは っ
すごく感じ
ちゃってる？
そのまま
バイブにイかせて
もらいなさいな
ああああ
ああ

はーっ
はーっ
はーっ
それじゃあ
真琴
命令よ
大丈夫
縛り方は
教えてあげる
きっとハマると
思うわ
フフっ
滞を縛り
上げなさい
はーっ
ギュ
あラッ
びくん
はーっ
はーっ
びくん
びくん
ギュッ
あッ

ぎちっ
ぎち
あら
上手に
縛り上げられた
じゃないの
上出来よ
私の奴隷ちゃん
ふーっ
ふーっ
ふーっ
そっ
そんなのっ
ありませんっ
お仕置き
されたい？
ご主人様が
何か挙げろと
言ったら
挙げるのよ
では真琴
澪の態度で
気に入らなかった
点を挙げなさい
え？
ふーっ
ふーっ

……
その…澪の体が敏感になってて…縛る度に体が動いて縛りにくかったところ…？くらいです…

澪悪い子ね～ではご主人様の手を煩わせた罰としてバイブでお仕置きを与えなさい

ふっ!?

大丈夫奴隷が罰を受けて許しを乞う姿を見たらすぐにハマっちゃうわ

あの…そんな…

あっ…

他人に支配される悦びと

ふっ

支配する悦びにね

あっ

ん

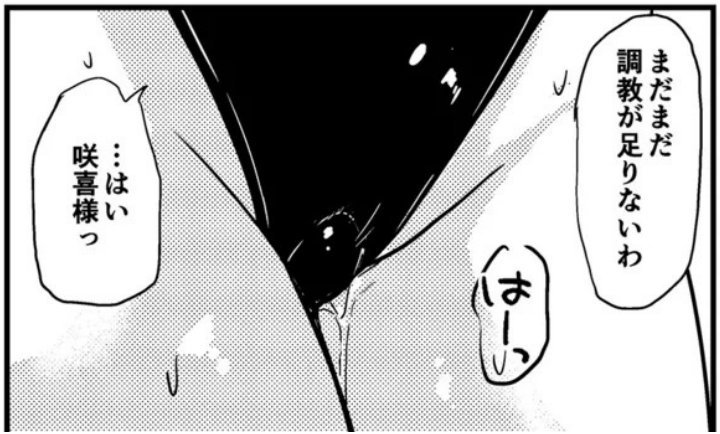
ん

びくん
びくん
ごぶっ
びくん
あはは
どう？
素敵でしょ？
自分の奴隷が
罰でよがる姿は

はぁ…
はぁ…
澪が…
はぁっ…
私の…？
どう自分の奴隷を持った気分は？
澪はあなたの奴隷よ
おおッ
もっともっとよ
あっ

びくん
びくん
びくん
びくん
びくん
びくん
興奮しちゃった？
はーっ
はーっ
はーっ
ぞわ
ぞわ

フフっ
体も思考も
私好みに
変えてあげる
媚薬飴の
力でね


まだまだ
調教が足りないわ
はーっ
…はい
咲喜様っ

はーっ
はーっ
はぁっ…
ほら澪
ご主人様の
言いつけが
守れないと
どうなるか
わかってる？
はぁっ…
はぁっ…
はい
お許し下さい
ご主人様
ゾクッ
ゾクッ
どうかしてる…
わっ
わかってんなら
お仕置きっ…だよ
私が澪に
こんな事を…？
はい…

私をずっと想ってくれて
守ってくれた親友
ん
んッ
なのに…
はーっ
はーっ
はーっ
愛おしくて
汚したくて
支配したいと思っている…
はぁ…
はぁっ…

こんな…

仇で返す仕打ち…

あああ

びく

びくんッ

誰か止めてっ

はーっ

ぽイ

ごめんっ澪っ

こんなのおかしいよっ

はーっ

ああああっ

びくん

ごめんなさいっごめんなさいっ

びくんッ

私を罰してっ
はーっ
はーっ
ふーっ
ふーっ
連日与えた媚薬飴の効果で精神も体も限界ね
真琴もういいわ
お役目はおしまい

澪を男達の部屋に連れて行きなさい

ジリ…

え？

あなた達二人を借りっぱなしだったもの

そろそろ皆溜まってきた頃じゃない？

ふ？

肉便器としてたくさん可愛がってもらいなさい

澪をですか…

それとも真琴が代わってあげる？

……

あの…咲喜様…澪はこのまま私に任せて貰えないでしょうか？

……

あなた何か勘違いしてない？

澪をあなたの奴隷として扱わせてるけどあなたが奴隷じゃなくなったわけじゃないのよ？

奴隷がご主人様に意見するなんて

よほどキツいお仕置きが欲しいみたいね

ちょっと立場をわからせてあげましょうか

あッ

あッ

あッ

ぎゅーッ

ぎゅん

ぎゅッ

ぎゅッ

ぎゅッ

あ
おぉ
ぁぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぴくっ
ぬるぬる
ウィィ
ぁぁぁッ
びくッ
ぴくッ
ぬるッ
グィ
媚薬飴の効果が効いているうちは昇天しそうになるでしょ？
ウィィ
トロォ
あなたにも咲く喜びを教えてあげる
あ…

そんな体で特製ディルドを咥え込んだらどうなるか

まずはお尻を攻めてあげる

ご主人様っ

あっ

許してっ

くださっ

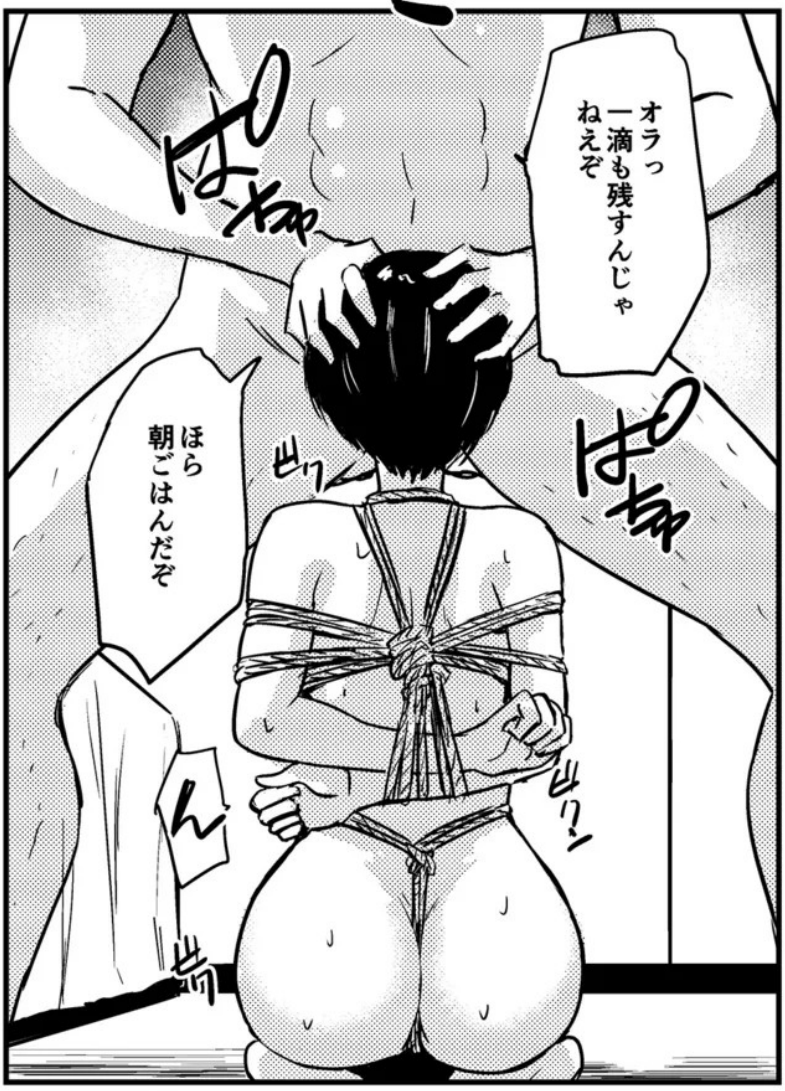
あっ

イッ
イっちゃうっ
ぎぎぎッ
イっちゃったんデスゥうっ
何回イっても許してあげないっ

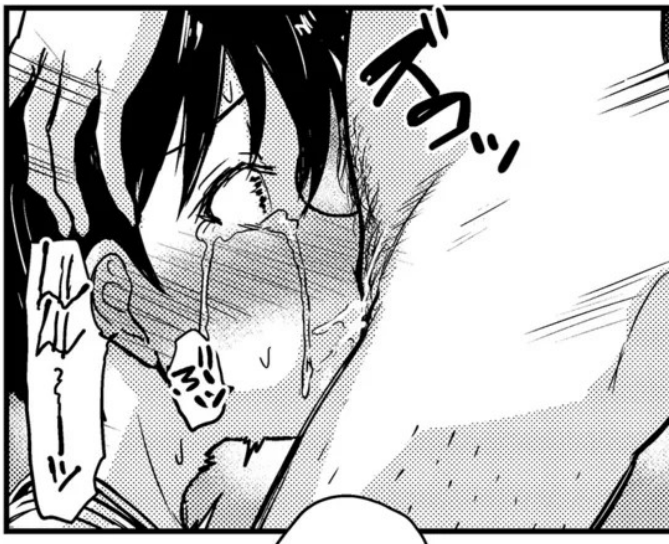
あの…
ギチ…
ギチ…
これは？
何ってあなたの朝ごはんよ？
カチャ
え？
いやぁっ姉さん待ちましたヨォ
ゾワ
ゾワ
1週間もお預けはキツいっすよぉ
反抗的な奴隷にはちゃんとした朝ごはんなんて贅沢よ
ゲク
ゲク
あっ…
久々にたっぷり味わうといいわ

ん
ん
ん

ひゅるっ
どく
んんぅぅ


オラっ
一滴も残すんじゃ
ねえぞ
ほら
朝ごはんだぞ
ぱちゃ
ぱちゃ
ん

ゴ
どくどく
ゴっきゃ


ズゴッ
ぶるぶるぅぅッ

は〜あ
口ん中
あったけぇっ
ん
ぎゅん
ぎゅん
んッ
ん

ぬぽっ
知らぬあッ
ドロォ

あらあら
ご馳走様が
聞こえないわね
そんなに
おかわりが
欲しかった？

たくさんあるから
た～んとお食べ
咲喜様っ
ご主人様っ
許して下さいっ
もうイヤっ
ガク
ガク

もう飲みたく
なっ
んんッ
ズボッ

口答えばかり
する口は
塞がないとな
ぢゃ
ぢゃ
ぐぢゅ

ぐるぐる
ぐるぐる
ぐるぐる

ぴゅっ
ぴゅるっ
ぴゅるっ
はーっ
あっ
しゅるっ
はーっ
はーっ
ドロォ…
フフフ
お皿のように
ザーメン溜め込んで
似合ってるわ
私の奴隷ちゃん
ぐちゃぁ…
ちょうど澪の
分もある
みたいだし
それじゃあ澪
あなたのご主人様が
性液まみれで
汚いから
綺麗にしてもらえる？
あなたの
朝ごはんよ
ふっ
そこの奴隷(お皿)に
注がれたエサ
残さず食べるのよ
ふーっ
カチャ
よろ…

かはあ
ちゃんと出来たら
愚かな奴隷ちゃんも
許してあげる
はっ
はぁ
ズッ
あっ♡
あっ
ぜんっ
ぴくん
ぴっ

ぜクッ
あッ
ちゅぱ…
はぁ…はーっ
はーっ
はーっ
まだよっ全て舐め取りなさい
ぴく
ぴく
ぎゅる
ぎゅぱ
あっ♡
ああっ♡
ぴく
ぴく
ぎゅぱぎゅぱ

ぴくん
ぴくん
ぷはあ…
そのまま
全身のザーメンを
綺麗に舐め取って
ぴく
ちゅるー
ぴくん
ちゅーー♥
ぴく
そうそう
いい子ね
ちゅる
ぴくん
ぴく
ぴく

口に残ったザーメンを全て吸い出しなさい
くちゅ
くちゅ♡
ぜゅゅ♡
ぜゅゅ〜〜♡
ぴくん
んっんんッ
ぷはぁ
くちゅ♡
くちゅ
びくん
びくん
はーいご苦労様

よく出来ました

プル

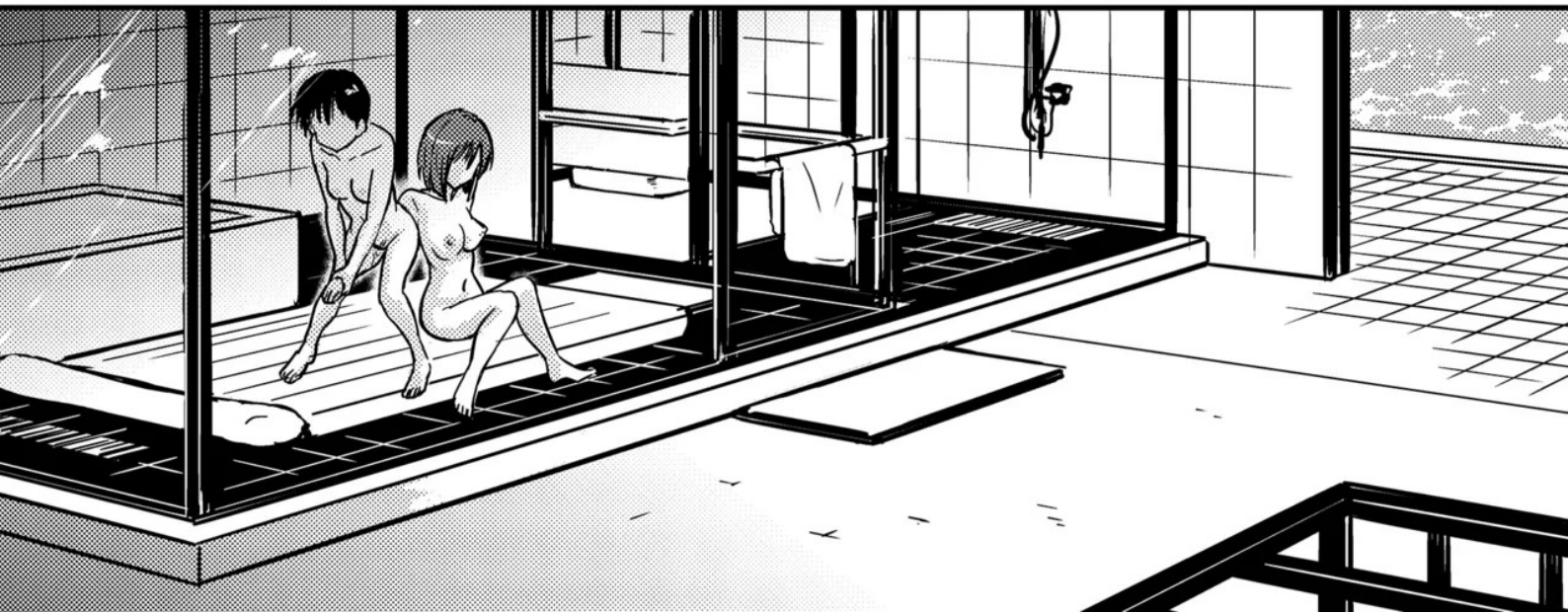
プル

頑張った
澪に免じて

この困った
奴隷ちゃんを
許してあげる

はぁっ…

はぁっ…



ズッ
ん
ズッ
ん
くちゅ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
しっかり全身で奉仕しなさい
ご主人様への忠誠心で今後の二人への待遇が決まるのだから
はぁ
はぁっ
びく
びく
はいっ咲喜様っ
はぁっ
はぁ
はぁ
ぎゅ
びくん
ぬぬ
いずれあなた達には顧客の相手をしてもらうから
……
……
澪が不満そうよあなたを取られて不満なのかしら

私も久しぶりにハメ外したくなっちゃった

一緒に舐めてくれるわよね？

スッ

くちゅ♥

ぴく

ぴく？

んっ〜〜〜ッ

ぴくッ

くちゅ

ぱぁ

ひゃあっ
ひゃきっ
ひゃまぁ〜っ

くちゅ

んっ〜〜〜ッ

くちゅ

くちゅ

ぐばっ
ん～っ
理性が吹っ飛び快楽の奴隷になるの
はーっ
はーっ
はーっ
びくん
びくん
びくん
ぢゅん♥
ぢゅん♥
わかる？あなたの体はもうっ
蓄積した媚薬で耐えられなくなっている
ちゅる
しゅ
最初からこうすればよかったのね
それじゃあなたの可愛い奴隷を連れてきなさいな
ぴく
ぴく
ぐぐ
ぐぐ
はっ
はひっ
ギイ
!!

はぁ…
澪〜
お待たせ〜
はぁっ…
はぁっ…
ふっ!?
咲喜様に
お許し
貰っちゃった〜
はーっ
はーっ
ごめんね〜
もう私
色々我慢できなく
なっちゃったみたい
はーっ
はぁっ…
はーっ
はーっ

はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁっ…
真琴!?
はぁ…
はぁ…
カチャ
これで離れられないね
ぐり
このバイブね お互いのが 近づくと
あ
カッ
カッ
カッ
一緒に振動するんだよ〜
グ
グ
グ

二人でお仕置きされてるみたいだね
まことおやめぇ
ああっ 澪っ ひとつになろうよ？
澪っ 逃さないから
あっ♡
あっ♡
あああああっ♡

あ
あぁぁぁ♡
あぁぁぁッ
あぁッ
びくん
びく
びく

はぁっ
はぁっ
はぁっ
フフッ 今のは 良かったわ
立派に 私の奴隷として 勤めを果たせたわね
はーっ
はーっ
はいっ
ありがとうございます ご主人様
はーっ
はーっ
はぁ
躾が出来て いい子ね

じゃあ澪にも
ご褒美あげないとね
ちゅう
んんッ
べろぉ
はーっ
はーっ
んはぁ
ちゅぱ
ちゅぱ
あ
スッ
ぴく
くちゅ
あッ
んんッ
ぴく
ぴく

ちゅ♥
ちゅ♥
ぢゅ♥
ぢゅ♥
ぢゅ♥
ぢゅん
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

二人で澪を可愛がってあげましょ
ぷはぁ♥
はいっ
ぢゅ♥
ぢゅん♥
ぢゅん
ちゅ♥
ちゅ♥
あっ♥
ぢゅ
ぢゅん
あっ♥
ぢゅ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
あ♥
ぢゅぷ
きます
きます
ぢゅる
あっ♥
くちゅ♥

はぁ…
はぁ…
はぁ…
すご〜いっ 澪てっこんな 下品な声出るんだ〜♥
可愛いっ
ぱん
あっ♥
あっ♥
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱん
ズッ
ズチュ
ズッ
ズチュ
本当に私の おちんちん 咥えてるみたい
澪のオホ声 大きい声で 聞かせてっ
ガク
ガク
あっあっ♥
ぱく
ぱく

あぁぁぁ
ぱぁん
ぱぁん
ぱぁん
あっ♥
真琴いらっしゃい
ぬるっ
クイッ
はいっ♥

お願いしますっ♥
あ♥
カチャ
ぱあー
ビクン
ズボッ
ああっ♥
ズボッ
あっ♥
ビク
ゲボッ
ゲボ

可愛い子っ
ぱん
ぱん
ぱちゅ
ぱん
ぱちゅ
あっ♡
あっ♡
ぱん
ぱん
二人とも私の奴隷として全て差し出しなさい
はぁ
はぁ
はぁ
ぱん
ぱん
ぱちゅ
ぱちゅ

あっ♥
はいっ 咲喜様っ
ぱちゅ
ぱん
ぱちゅ
ぱん
あっ♥
私もっ
ぱちゅっ
ぱん
あっ♥
お願いしますっ ご主人様っ
ぱんっ
あっ♥
ご主人様に 一生飼われ たいんですっ
ずっ
ずっ
あ
あ
あ♥

ガク
ガク
ガク
ガク
ぁぁぁぁ
ぴゅ

ごめんなさい
楽しくなっちゃって
つい長いしちゃった

くちゅ

くちゅ

はいはい
みんな溜まって
いるでしょうから
肉便器たちは
返すわよ？

ええ今の二人なら
私の言う事なら
なんだって
聞くわよ？

ちゅぱ…

そうでしょ？
アナタたち

はぁっ…

はぁ…

ぬる…

ピッ

はいっ…
私たちは
一生咲喜様の
性奴隷です

ぢゅる

ぢゅる

ん

よく
言えました♪

ぢゅん

あとがき

お久しぶりです。銀茶です。
なんだかんだでシリーズ4冊目となりました。あれも描きたいこれも描きたいと
毎回ページ数が増える一方です。
今回は想定より時間が掛かってしまって他の仕事の進みが遅れてしまいました。
今年は夏まで商業の原稿作業が忙しくて、他の仕事を夏以降に全部ぶち込んだのが
結構響きましたね、やっぱ自分はマルチタスクは向いていないです。
なので来年はもっとゆとりを持って動きたいですね。（毎回思っている気がしますが…）

プールサイドは１作目を作ってから随分時間が経ってしまいましたが、想定している
ラストまで完結出来ればいいなって思います。
調教師たちを掘り下げて描いてみたいんですが、プールサイドはあくまで真琴と
澪の話なのでどう調整するのか悩み中です。

同人はプールサイドばかりになってますが、他にも色々と描きたいこの頃です。
調教メインの陵辱モノや水泳インストラクターNTR本の続編とかネームまで進め
ているのですが途中で止まってます。そのうち出せれば…。

来年も全力で取り組んで行きますのでどうぞ末長く銀茶屋をよろしくお願いします。
では良いお年を！！

銀茶

X　pixiv　fantia

2025.12

よかったらフォローしていって下さい。
ご購読ありがとうございました！

銀茶屋
GINCHAYA

プールサイド：チャプター4

ORiGIN 09

2025.12.31

発行：銀茶屋

著者：銀茶

mail : ginchaya2904@gmail.com

印刷：栄光印刷

Poolside
プールサイド
chapter 4
ORiGIN 09
銀茶屋
GINCHAYA